



医薬・バイオ委員会（委員数 31名／担当：奥村副理事長）

◆ 活動方針：

- 第一小委員会：「次世代医療基盤法施行後のデータ利活用の現状と今後の展望」
- 第二小委員会：「次世代バイオテクノロジー関連ビジネス（医薬品、食品、化粧品、環境、化学品 など）における知的財産戦略」
- 第三小委員会：① 医薬・バイオテクノロジー分野におけるビジネスエコシステム（産学官連携を含む）の知的財産に関する研究／② ライフサイエンス分野におけるグローバルな意見提言発信
- CBD WG：① WIPO IGC対応／② COP15に向けたDSI議論の情報収集





医薬バイオ委員会

第1小委員会（委員数 10名）

◆ テーマ名

「次世代医療基盤法施行後のデータ利活用の現状と今後の展望」

◆ 狙い

次世代医療基盤法の下に生まれつつある認定匿名化事業者を中心とし医療ビッグデータ利活用のエコシステムにおける知的財産の役割、あるべき姿を明確にする。

◆ 内容の概略

新たな医療ビッグデータ利活用のエコシステムを円滑に運用する為に、発生した知財のインセンティブのあり方（データ提供者へのインセンティブの還元、データ利用により生まれた知財の保護のあり方等）を当事者や有識者の意見も取り入れて提言としてまとめる。

◆ アウトプット&スケジュール ※

- 2020年6月～2021年3月：情報収集及び論説内容の取りまとめ
- 2021年4月～：論説寄稿準備

※スケジュールは見直しの可能性あり





◆ テーマ名

「次世代バイオテクノロジー関連ビジネス（医薬品、食品、化粧品、環境、化学品など）における知的財産戦略」

◆ 内容の概略

次世代のバイオテクノロジーを用いた関連ビジネス（医薬品のみならず、化成品、化粧品、食品等も含む）について、知財から見た今後の展望と知財戦略を明らかにする。どのような会社がどのような知財を出しているのか、あるいは、どのような分野・技術（CRISPR/Cas9,スマートセルインダストリー,etc.）において各社がどのような知財を出しているのかなどの出願動向をまとめる。

◆ アウトプット&スケジュール ※

- 2020年6月～：情報収集、論説の方向性の検討等
- 2021年1月～：パテント・ポートフォリオ調査等論説の方向性寄稿準備等
- 2021年7月～：論説骨子の検討、論説作成開始等

※スケジュールは見直しの可能性あり



医薬バイオ委員会

第3小委員会（委員数 7名）（中長期テーマ）

- ◆ テーマ名：①医薬・バイオテクノロジー分野におけるビジネスエコシステム（産学官連携を含む）の知的財産に関する研究／②ライフサイエンス分野におけるグローバルな意見提言発信

- ◆ 内容の概略：① 昨年度に引き続き、日本の大学と企業のコラボレーションにおける問題点を整理するとともに、産学官連携におけるOpen Innovationの形と医薬バイオテクノロジー産業におけるエコシステムの調査ならびに諸外国におけるエコシステムとの比較を行い、今後の医薬バイオテクノロジー産業におけるビジネスエコシステムの在り方を探る。/② 略

- ◆ アウトプット&スケジュール:※
 - 2020年6月～：情報収集、論説の方向性の検討等
 - 2021年4月～：調査検討等
 - 2022年1月～：論説骨子の検討、論説作成開始等※スケジュールは見直しの可能性あり





◆ **テーマ名**

①WIPO IGC対応／②COP15に向けたDSI議論の情報収集

◆ **狙い**

①知的財産権出願時における遺伝資源情報開示義務議論の情報収集および対応／②DSI議論の各国動向の情報収集

◆ **内容の概略**

①WIPO IGCで議論されている「International Legal Instrument (略称)」において過度なGR開示義務とならないよう対応する（開示義務阻止を含む）。

②DSI議論の各国の情報収集を行い、動向を探る。特に知的財産権制度と関連しそうな情報（DSI無償利用とのバーターによる権利化厳格化等）を確認する。

◆ **アウトプット&スケジュール**

2020年8月 各会合のスケジュールと現状確認および今後の進め方検討

2020年9月 DSIに関するJBA様との意見交換

2020年10月 IGC41での議論内容確認、対応検討

2020年末～ DSIに関する各国情報まとめ 今後の対応検討

